

### 継続は力となつて



下諏訪地区更生保護女性会  
会長 吉田 美枝子

私たちの主な活動に、子どもさんの見守りパトロールがあります。あすなろ、みずべ、赤砂などの公園や南小、北小の通学路、駅などでお子さん方が事故や事件に遭わないように声かけを行っています。小学校の皆さんより「いつも見守りをしてくれてありがとうございます」とお手紙をいただき、こちらこそ、という気持ちになりました。頻繁に起きる子どもさんが犠牲になる事件や事故、電話でお金詐欺のニュースを聞くたびに落ち込むこともあり、仲間と共に知恵を出し合い、町の安心と安全のためにこれからも精一杯活動を継続して参りますので、皆さまのご指導・鞭撻、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



今回表彰された皆さま

- ◎長野県知事表彰 松尾 則子
- ◎長野県保護観察所長感謝状 山口 玲子
- ◎長野県更生保護女性連盟会長表彰 矢ヶ崎 三重子
- 雨宮 恵美子
- 林 和子
- 石田 玲子
- 岩波 美佐穂
- 吉田 邦子

### 賛助会費のご協力について

私たち更生保護活動は「賛助会費」によって支えられています。今年は2年に一度行われる、長野県保護観察協会の賛助会員募集および、賛助会費のお願いをする年です。賛助会費の一部が地元にも還元され、いろいろな運営活動費に充てられます。昨今、犯罪情勢は増加の傾向にあります。私たちはボランティアであります、少しでも犯罪のない社会実現に向かって、更なる精進・努力をしていきます。皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

### 新人紹介

#### 岩波 美佐穂

保護司を拝命いたしました岩波美佐穂です。過去に相談業務を担当の折、保護司との連携で、保護観察中の方の立ち直りに寄り添いながら更生支援を行うと知り組み所存です。宜しくお願いいたします。

#### 山浦 みはる

令和7年12月に拝命いたしました山浦みはるです。何分にも若輩者ではございますが、先輩方に教えを乞いながら保護司活動に尽力して参りますので、皆さま、よろしくお願いいたします。

### 人事報告

#### ◎ 退任保護司

#### 笠島 信明様

長い間の更生保護活動に心から敬意を表します。本当にありがとうございました。

#### あ と が き



この度の下諏訪保護だより発刊にあたり、お忙しい中、巻頭言として下諏訪町教育長の山田典史様、公開ケース研究会講師の才門辰史様からご寄稿いただき、心より御礼申し上げます。また、私共の仲間であり大先輩であるお二人が、瑞宝双光章並びに法務大臣表彰を授与されたことも、大変喜ばしく思います。引き続き、犯罪のないまちづくりのために11名の保護司で団結し、精進を重ねてまいりますと存じます。ご支援の程、よろしくお願いいたします。

(広報部 山浦)

# 下諏訪保護だより

令和8年  
第20号

諏訪地区保護司会  
下諏訪分区  
発行者：高山登美子  
編集：広報部会



初夏の八島湿原 (古屋 治様 提供)

## 地域という「大きな家族」の中で育つ子ら



下諏訪町教育長 山田 典史

保護司の皆様、そして更生保護女性会の皆様には、日頃より「社会を明るくする運動」に多大なるご尽力をいただいておりますこと、心より感謝と敬意を表します。

皆様が活動の中で大切にされていることは「孤立を防ぎ、地域全体でその人を受け入れる」という想いだ。伺ったことがあります。核家族化やデジタル化が進み、人との「つながり」が希薄になりつつある今だからこそ、人の心を癒やし、再出発の力を与えてくれるのは、やはり「人との温かなつながり」に他なりません。

立ち直ろうとする人々にとって、最も大きな壁となるのは「孤独」です。「自分を見てくれる人がいない」「社会に居場所がない」という絶望感。は、再犯にもつながりかねません。だからこそ、私たち一人ひとりが、ひとりの人間として彼ら、彼女らの隣に立ち続けることが重要なのです。

実は、この「孤立を防ぎ、地域で受け入れる」という考え方は、学校教育

の現場でも同じです。「自分を見てくれる人がいない」「居場所がない」と感じる生徒は、孤独感から無気力になり、学習意欲を失い、学校生活に向かえなくなってしまうことがあります。

子どもたちが「自分は一人ではない」「自分には役割がある」という自己肯定感や自己有用感を持つためには、日常の中の小さなつながりが欠かせません。朝の挨拶、廊下での会釈、何げない会話など、それらの積み重ねこそが、子どもたちに「自分はこの学校の一員である」という自覚を促します。

子どもたちにとって学校は最も身近な地域社会です。幸い、下諏訪町内の学校には「アースしもすわネットワーク」と「なぎがまコミュニティスクール」のボランティア活動がとても充実しております。これからも、より多くの皆様に学校へ関わっていただき、下諏訪町の未来を担う子どもたちが地域の方々との何げない会話を通じて、地域とのつながりを深めていけるよう、お力添えをいただければ幸いです。

# 町が「再犯防止推進計画」を策定!

近年、全国的に刑法犯の検挙者数は減少傾向にある一方で、再び罪を犯してしまう「再犯」の割合は依然として高い状況が続いています。背景には、住まいや仕事、人とのつながりの不足、孤立や生活困窮など、様々な課題があります。

こうした状況を踏まえ、下諏訪町では、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域全体で支え、誰もが安心して暮らせる

「再犯防止推進計画」を策定しました。計画では、①相談支援体制の強化、②切れ目のない支援体制づくり、③社会参加や就業支援への協力、④安全・安心な地域づくり、⑤多機関連携による支援体制の整備の5つ

を基本方針としています。保護司会をはじめ、更生保護女性会や協力雇用主会などの関係団体、また住民の皆さまと連携しながら、「地域で支え、地域で見守る」取組を進めていきます。

再犯防止は特別な人だけの課題ではなく、地域の安全・安心につながる身近な取組です。今後も町民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

(下諏訪町 住民環境課 生活相談係)



詳細は町のウェブサイトをご覧ください

# 「喜連川社会復帰促進センター」の視察研修



9月10日に栃木県さくら市の、再犯防止のための職業訓練施設に行きました。再犯者の6割以上が出所後、仕事や住居の確保が難しく、経済的、社会的な自立ができずに再犯しています。社会復帰のために、再犯防止の指導を行う、特化ユニットでプログラム(ふれあい、リハビリスポーツ、いきいきものづくり、フラワーセラピー等)を実施して地域での共生がされています。また、矯正処遇では、再犯防止のための作業(職業訓練等)、改善指導(犯罪の責任を

自覚させる指導、社会生活に必要な知識の指導、生活態度等の一般改善指導、薬物依存離脱、暴力団離脱、性犯罪再犯防止、被害者の視点を取り入れた教育、交通安全就労支援等)、教科指導(学力を欠くことで改善更生や円滑な社会復帰に支障がある受刑者の指導)などを行う訓練施設でした。

この施設の収容定員は1956名、うち女性は50名です。収容対象は犯罪傾向の進んでいない受刑者に限られます。ここでは官民共同による運営で地域との共生を図り、国民に理解され支えられる刑務所を目指していました。

# 春の叙勲「瑞宝双光章」受章にあたり

下諏訪分区副分区長 小口久輝さんがこの度栄えある「瑞宝双光章」を受章されました。事業を経営されながら、28年間で約23名の保護観察対象の方々に寄り添い、立ち直りにご尽力されました。失敗のケースなど皆無ではないと思いましたが、「質問ばかりして担当を変えてほしいと言われたこともあった」とのこと。それを機に「聴く側に立つこ



とをこころがけてきた」とおっしゃり、続けて「あと2年の任期を全うしたい」と心強いお言葉を伝えてくださいました。ご一緒できる尊い残りの期間、小口さんの保護司としてのスピリットを何ひとつ逃さずに吸収したいと思えます。最後に、瑞宝双光章受章、心よりお祝いを申し上げます。おめでとうございます。

(文責 山浦)

# 増澤保護司の法務大臣表彰に寄せて



増澤保護司が法務大臣表彰を受けられました。心よりお祝い申し上げます。日頃より地域社会のため、根気強く保護司としての使命を果たしてこられた長年のご尽力が、今回の栄えある表彰につながったこと、心から敬意を表します。自らの経験と知見に基づき、

(文責 大木)

# 公開ケース研究会報告

令和7年9月25日、下諏訪町保護司会公開ケース研究会でお話していただいたNPO法人セカンドチャンス!の才門辰史氏から、あらためてこの紙面にあててメッセージをいただきました。

— 下諏訪町の保護司の先生方、地域の皆様へ —

NPO法人セカンドチャンス!の才門辰史です。去年の9月に下諏訪町保護司会公開ケース研究会で話させていただきました。この度は、貴重な機会を与えてくださり、当事者としての体験を聞いてくださりありがとうございます。

私自身、10代の頃、少年院経験者で保護観察を受けていた経験があります。沢山の過ちを犯しました。それでも家族や大人の方々が見捨てず、支え続けてくださりました。そのおかげで、今、犯罪から離れて生活できているんだと思います。

少年院出院者の立ち直りに大切なのは、出院後支えになる繋がり、そして良き出会いだと思います。日々、非行少年の立ち直りをサポートして下さっている保護司の先生方、地域の方々に心から感謝します。

その繋がりや少年の生き直しの大きな支えになると思っています。私自身も、沢山の良い出会い、良い繋がりに支えられて、助けられたからこそ、これは支えのひつになれるように頑張りたいと思います。セカンドチャンス!は少年院出院者同士が共に支え合い、励まし合えるような心の居場所を築いていきたいと思えます。これからも、仲間と共に、まっとうに生きていっていきま。今後とも何卒よろしくお願いたします。

※本年も9月に、少し趣を変えた公開ケース研究会を計画しております。その際は、皆様よろしくお願いたします。

(犯罪予防活動部 直井賢治)



公開ケース研究会

## 第76回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し立ち直りを支える地域の力～

**強調月間** 令和8年7月1日(水)～7月31日(金)

**標語** 下諏訪両中学校より20点の入選標語を立看板にし、町内20箇所に設置し、学校訪問の際、表彰します

**街頭啓発** 7月1日(水) 駅前と各小・中学校入り口で趣旨を呼びかけます

**学校訪問** 小・中・花田支援学校6校を訪問し、更生保護女性会より「愛の花束」を贈呈します

### “社会を明るくする運動”作文コンテスト

下諏訪町の小・中学校の皆さんから毎年作文を募集し、入選した作品を表彰します。

## 第70回 長野県更生保護大会報告

**開催日** 令和7年10月24日(金)

**会場** 飯山市文化交流館なちゅら

下諏訪分区での受賞者は以下の方々です。おめでとうございます。

- ・法務大臣表彰 増澤 洋 保護司
- ・関東地方更生保護委員会委員長表彰 堀内 伸二 保護司
- ・長野県保護観察所長表彰 直井 賢治 保護司
- ・長野県保護司連合会会長表彰 山口 玲子 保護司
- ・全国保護司連盟理事長表彰 笠島 恵子 様 (笠島信明元保護司妻)